

設立趣意書

1 趣旨

推計 2000 万トン。この数字は日本全国で毎年廃棄されている食料品の量です。日本の消費者の目は必要以上に厳しく、ラベルの色落ち・容器のへこみ・不揃いな色や形・消費期限の接近等、品質には何の問題もないのに多くの食料品が市場性を失いゴミ箱へ捨てられています。

一方、母子家庭、ワーキングプア、高齢者、移住労働者、ホームレス等、安全で十分な食料を入手することができない方も数多く存在します。

セカンドハーベスト名古屋では、こうした食料品を企業や家庭から集め、福祉施設や母子家庭支援施設、児童養護施設、教会等に提供し、社会全体の利益の増進に寄与することを目的としております。

企業に寄付を募るにあたり、企業にとっての利点である①社会貢献②廃棄費用の軽減③従業員の罪悪感の軽減④イメージ向上等を説き、同時に寄贈後の食料品の安全管理を任せるに足る、信頼できる組織であることを認識していただくためには、法人格が必要であると考え、申請に至りました。

2 申請に至るまでの経過

我々は、もともと東京の NPO 法人セカンドハーベスト・ジャパンの活動趣旨に賛同し集まったボランティアグループであります。2007 年 12 月から毎月 1 回のペースで、東京から 1 回につき約 2 トンの食料品の提供を行っていただき、それを東海地区の母子家庭支援施設、ホームレス支援団体、児童養護施設などに提供しておりました。しかし、このままでは支援できる施設の数、食料品の量に限界があります。

幸い名古屋市を中心とした東海地区には多くの企業が拠点を構えているため、東海地区に居住するメンバーが主体的に東海地区で活動することが、より一層社会利益の増進に寄与すると考え、申請に至りました。

2018 年 9 月 10 日